



▲アメリカの文化などを紹介するコーディィさん

アメリカの制度や文化を英語で紹介
第1回国際理解講座
 6月16日(木)、市民会館で、市の外国語指導助手として活動するコーディィ・マクドゥーガルさんを講師に招き『第1回国際理解講座』（市主催）を開催しました。
 コーディィさんは、アメリカ人の愛国心の強さや、アメリカのそれぞれの州における制度の違い、自身の出身地であるケンタッキー州の料理などについて、写真や資料などを使って紹介してくれました。
 国際交流に興味を持つ参加者は、異国の地に思いをはせながら、日本との違いを知る貴重な時間を過ごしました。

6/16

昔ながらの手作業での田植えに挑戦

ふれあい農園『田植え』

5/28

5月28日(土)、千歳町『ふれあい農園』で田植え(登別市学校支援地域本部実行委員会、幌別中学校区地域教育協議会主催)が行われました。『ふれあい農園』での田植えは、平成4年から毎年実施されています。25年目を迎えた今年は、幌別小・中学校の児童生徒やその父母、地域の方など約220人が参加しました。
 参加者は、はじめのうちは裸足で入る泥の感触に戸惑いがちでしたが、泥に慣れてくるにつれて笑顔が増え、手足を泥だらけにしながらかついに田植えを行っていました。

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



▲豊作を願いながら田植えに汗を流す参加者

登別の夏の風物詩

地獄の谷の鬼花火

6/1

6月1日(水)、登別温泉町の地獄谷展望台で、今年11年目となる登別の人気行事『地獄の谷の鬼花火』（市、登別観光協会主催）が開幕し、当日地獄谷に集まった約1千500人の観光客や市民は、そのパフォーマンスに魅了されました。

この催しは、登別温泉の守り神である湯鬼神が、厄払いのため太鼓の演奏とともに舞い踊り、手筒花火を噴き上げ、人々の幸せを願って行われているものです。

展望台の石段へ向かう6人の湯鬼神たちが、ドラの音に合わせてそれぞれに手筒花火を点火。硫黄の香り立ち込める登別の夜空に約8呎の火柱が立ち、観光客は一斉に放たれたときの光景に圧倒され、会場は拍手で包まれました。

『地獄の谷の鬼花火』は、8月5日(金)までの毎週木・金曜日の20時30分から開催しているほか、地獄谷遊歩道を照らす『鬼火の路、幻想と神秘の谷』を、日没から21時30分まで通年開催しています。



▲迫力の手筒花火を打ち上げる湯鬼神